

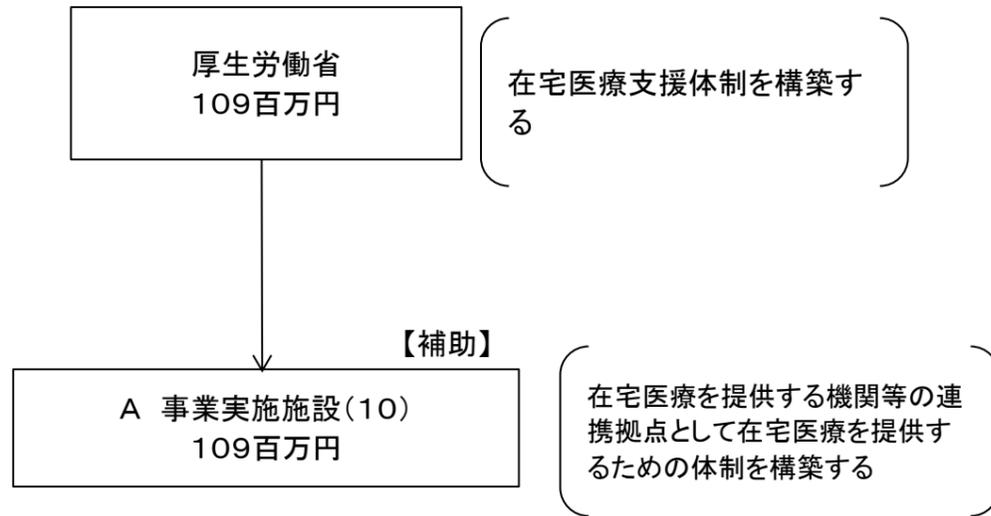
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	在宅医療・介護の推進		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	指導課 在宅医療推進室、看護課		室長：平子哲夫	
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生活の場において必要な医療サービスを受けられる体制を構築することにより、住み慣れた場で、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指す						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			109	2,237	3,228
		繰越し等					
		計			109	2,237	3,228
	執行額			109			
	執行率 (%)			100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	在宅看取り数の増加 (人口動態調査)	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・多職種協働による在宅医療提供体制の構築 ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成の体制の構築	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	・多職種協働による在宅医療提供体制の構築 ①21,044千円×事業所 ②21,836千円×事業所 ③2,818千円×事業所 ・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成の体制の構築 ④17,584千円×中央チーム(1箇所) ⑤1,939千円×都道府県(47箇所)		算出根拠	①平成24年度 在宅医療連携拠点事業の補助基準額(一般枠) ②平成24年度 在宅医療連携拠点事業の補助基準額(復興枠) ③平成24年度 在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業の補助基準額 ④及び⑤平成24年度多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業の基準額 ※ ④都道府県リーダー研修、⑤地域リーダー研修			
平成24年度 25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	在宅医療連携拠点事業	2,058	3,128	・在宅医療連携拠点事業:日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 2,080百万円 (内訳)在宅医療連携拠点事業 1,965 小児在宅医療患者相談支援事業 115			
	在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業	70	0				
	多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業	109	100	・在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業:チーム医療普及推進事業 (チーム医療推進のための看護業務の安全性等検証事業)に統合			
				・多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業:研修内容見直しによる減			
	計	2,237	3,228				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師、ケアマネージャー等の多職種協働による在宅医療提供体制の構築については地域のニーズに合致している。 ・施設中心の医療・介護から、可能な限り、住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられ、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指すことから、「在宅医療・介護」の推進に向け、国として実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。 ・事業者の選定については、事業計画書の中で <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の課題に対する解決策の抽出 ・在宅医療従事者の負担軽減の支援 ・効率的な医療提供のための多職種連携 のそれぞれの課題の解決策がより明確になっているものについて優先的に採択した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>在宅医療連携拠点事業については、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、多職種による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を構築していくものである。</p> <p>また、多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業については、医師、看護師、ケアマネージャーなどの医療福祉従事者がお互いの専門的知識を活かしながら、医療と介護の連携上の問題点について議論し、相互理解を深め、チーム医療を展開していくものである。き、事業終了後に事業全般について総合的に評価し、今後の在宅医療に関する政策立案や均てん化に役立てていく。</p> <p>今後については、事業の執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	在宅医療・介護の推進については、提言型政策仕分けの提言を踏まえ、地域における医療と介護の連携の仕組みの道筋を早急に付けるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	平成24年7月にとりまとめられた厚生労働省版「提言型政策仕分け」の提言等を踏まえ、市町村を中心とした多職種協働による医療と介護の連携の下で、在宅医療が提供される体制の構築を推進していき、特に在宅療養者の病状が急変した場合の対応や、在宅で療養する小児・障害者等を支える広域的な医療・福祉の連携体制の強化を図るため、平成25年度概算要求において予算要求していくものである。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0003

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社ケアーズ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	医療従事者人件費等	10			
借料	シンポジウム開催に係る会場借料	2			
旅費	職員等旅費	1			
需用費	消耗品費、印刷製本費	1			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ケアーズ	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	14		
2	社会医療法人恵和会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	13		
3	社会福祉法人天竜厚生会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	11		
4	社会医療法人 長崎記念病院	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	11		
5	社団法人大分県別府市医師会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	11		
6	医療法人葵会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	11		
7	医療法人財団千葉健愛会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	11		
8	社団法人 鶴岡地区医師会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	10		
9	医療法人博仁会	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	10		
10	福井県大野市	在宅医療を提供する機関等の連携拠点として体制の構築	6		

【事業概要】

在宅医療・介護の推進

<p>事業概要</p>	<p>①在宅チーム医療を担う人材の育成 ・今後、増加が見込まれる在宅療養者への質の高い在宅医療を提供できるよう、地域で在宅医療を担う人材(指導者)を養成するための多職種協働研修などを行うことにより、在宅医療を担う人材の知識・技術の向上やチーム医療の展開を図る事業</p> <p>②在宅医療連携拠点事業 ・在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指す事業</p> <p>③在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業 ・患者・家族が希望する在宅医療を実現するため、専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みの構築に向け業務の安全性や効果の検証を行う。</p>
-------------	--